

「ロビンソン変形譚」とは、ダニエル・デフォーの『ロビンソン・クルーソー』(1719)の影響を受けて創作された物語(群)を指す言葉です。具体的に言えば、無人島やそれに類する場所を舞台にしたサバイバルストーリーのことであり、そのような作品群全体に与えられた文学ジャンルとしての名前でもあります。このジャンルに属する作品はプロットや状況設定など共通点が多いため、相互比較を行うのに大変便利です。本講義では、そのようなジャンルの特性を利用し、物語に登場する「食」という共通要素に着目して様々な変形譚について考察しながら、児童文学の歴史をたどり子どもの本の主題や表現がどのように変化してきたかを確認します。

サバイバー①

持込食糧	ビスケット、米、チーズ、干し肉、砂糖、小麦、酒類など
食事内容	持込食糧 → ヤギの肉 → 鳥の肉 → 魚 → ウミガメの肉と卵 → ブドウ、レモン、ライム

サバイバー②

持込食糧	干し肉、乾パン、家禽(ニワトリ・アヒル・ガチョウ・ハト)、チーズ、バター、ハム、穀類、とうもろこし、家畜(牝牛・ヤギ・ヒツジ・ブタ)など
食事内容	乾パン、干し肉のスープ、カキ → 海ザリガニ → ヤシの実 → サトウキビ → 魚の串焼き、鷺鳥の丸焼き、干し肉スープ、チーズ、ヤシの実 → 乾パン、バター → ハム、チーズ、乾パン、卵料理(カメの卵+バター)、シャンパン → 乾パン、ミルク

サバイバー③

持込食糧	なし
食事内容	ヤシの実 → カキ → パンの実 → 魚 → ヤムイモ、タロイモ、プラム、サトウキビ、ヤマバト、豚の丸焼き

サバイバー④

持込食糧	乾パン、缶詰類、ハム、肉入りクラッカー、コンビーフ、塩漬け食品、蒸し煮肉など(「けちけちして食べたところで、二か月以上はもたない」)、酒類など
食事内容	乾パン、コンビーフ、貝(ムールガイ、ハマグリ、カキ) → 鳥(イワバト、ガン、カモ、ミヤコドリ等々) → 魚(メルルーサ、イナング) → ウミガメ

サバイバー⑤

持込食糧	パン、バター、砂糖、ビスケット、缶詰類、卵、お茶、ライスプディング、シードケーキ、りんご、じゃがいも、ミートパイ、フォース(味付け肉)、グリーンピース、チョコレートビスケットなど
食事内容	スクランブルエッグ、バター付きパン、ミルクティー、ライスプディング、シードケーキ、りんご → 朝食(内容不明) → ゆでじゃがいも、ミートパイ、ビスケット、りんご → 朝食(内容不明) → パーチのバターソーテー

サバイバー⑥

持込食糧	なし
食事内容	果実 → 豚肉

サバイバー⑦

持込食糧	なし
食事内容	カモメの卵、小魚、草の実 → 貝（アワビ・ムラサキイガイなど）、魚（スズキなど） → 草の実の粥

サバイバー⑧

持込食糧	米、パン、メリケン粉、ビスケットなど（約3か月分）
食事内容	持込食糧、魚 → レモンの汁をかけた魚

サバイバー⑨

持込食糧	チョコレート、ビスケット
食事内容	ランゴスタ（エビの一種・ハサミがない） → コバンアジ、エビ、貝（ムラサキイガイ、ウニ）、浜辺ブドウの葉 → ヤシの実

サバイバー⑩

持込食糧	なし
食事内容	サンザシに似た木の実 → ユリ根 → イガイ → マングイル（野生のネギ）→ カモメの卵 → 野バラの実 → 正体不明の植物（ハナウド） → イガイとユリ根のスープ → 野バラのお茶 → 海藻（コンブ） → キノコのスープ → 小エビ、アカニシ貝、ナマコ

サバイバー⑪

持込食糧	おにぎり、ウインナーソーセージ
食事内容	おにぎり、ソーセージ → 貝（カキ、ベッコウザラ）、クロダイ → イサキ、貝（カキ、トコブシ） → 貝（アサリ、アカニシ） → アシタバ → メジナ、イカ、シロギス → 板サンガ（魚、アシタバ、カキをまぜて焼く） → トビウオ（焼く&スープ） → カニ、カキ、ウニ等々 → タコ → 貝のスープ → カレイ → 七ツマサ

サバイバー⑫

持込食糧	なし
食事内容	魚の切り身、バナナ → 果実（ランブータン） → 燻製の魚、バナナ、ヤシの実、野生のイチゴ、パンの実、ドリアン → 果物のジュース・魚のスープ

サバイバー①

Daniel Defoe. *Life and Strange Surprizing Adventures of Robinson Crusoe of York, Mariner*, 1719.

(デフォー、『ロビンソン・クルーソー』、海保眞夫訳、岩波少年文庫、2004年)

サバイバー②

Wyss. *Der Schweizerische Robinson*. 1812-27.

(ヨハン=ダーヴィッド=ウィース、『スイスのロビンソン』、小川超訳、学習研究社、1977年)

サバイバー③

Robert Michael Ballantyne. *The Coral Island: A Tale of the Pacific Ocean*. 1858.

(バランタイン原作、『さんご島の三少年』、大泉一郎、講談社、1956年)

サバイバー④

Jules Verne. *Deux ans de Vacances*. 1888.

(ジュール・ヴェルヌ、『二年間の休暇』上・下、大友徳明訳、偕成社文庫、1994年)

サバイバー⑤

Arthur Ransome. *Swallows and Amazons*. 1930.

(アーサー・ランサム、『ツバメ号とアマゾン号』上・下、神宮輝夫訳、岩波少年文庫、2010年)

サバイバー⑥

William Golding. *Lord of the Flies*. 1954.

(ウィリアム・ゴールディング、『蠅の王』、平井正穂訳、集英社、2009年)

サバイバー⑦

Scott O'Dell. *Island of the Blue Dolphins*. 1960.

(スコット・オデル、『青いイルカの島』、藤原英司訳、理論社、2004年)

サバイバー⑧

矢野徹、『孤島ひとりぼっち』、国土社、1969年。

サバイバー⑨

Theodore Taylor. *The Cay*. 1969.

(T・テイラー、『ありがとうチモシー』、白木茂訳、あかね書房、1975年)

サバイバー⑩

Николай Внуков. *Один*. 1985.

(N・ヴヌーコフ、『孤島の冒険』、島原落穂訳、童心社、1998年)

サバイバー⑪

彦一彦、『猿島の七日間』、福武書店、1989年

サバイバー⑫

Michael Morpurgo. *Kensuke's Kingdom*. 1999.

(マイケル・モーパーゴ、『ケンスケの王国』、佐藤見果夢訳、2002年)